

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	使用済乾電池処理適正化事業	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html	(連絡先)	213-4960
		(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
6,292	6,744	現状のまま継続	7,479	指標：回収量
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 日本通運(株)への積込み・運搬の委託及び、野村興産(株)への処分の委託		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%110%120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成 5 年度	終了(予定)時期	平成 年度	類型 11 その他
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 一次乾電池を排出する市民
	活 動 容	(どのような手段で) 市役所本庁舎、区役所・支所、まち美化事務所、商業施設等に使用済乾電池の回収箱を設置し、回収、保管場所から処理施設まで運搬し、リサイクルする。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 現在、使用済乾電池は家庭ごみとして捨てても生活環境保全上問題ないとされているが、使用済乾電池に含まれる水銀、亜鉛、マンガンなどを適正処理し、家庭ごみとして焼却し埋め立てるのではなく、拠点回収しリサイクルすることによって、資源として有効利用する。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	6,768	7,073	6,292	6,744	7,479
		需用費(回収ボックス等)	762	747	661	687	785
	①'	委託料 (積込み、運搬、処分)	6,006	6,326	5,631	6,057	6,694
	②	委託料が事業費に占める割合(①'÷①) (%)	88.7%	89.4%	89.5%	89.8%	89.5%
	③	人件費(24年度は見込) (千円)	4,275	4,947	4,836	15,378	15,378
		職員(課長級) (人)	0.09	0.06	0.06	0.06	0.06
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.06	0.09	0.09	0.09	0.09
		職員(係員) (人)	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40
		嘱託職員等人件費 (千円)				10,542	10,542
	④	年間経費(①+③) (千円)	11,043	12,020	11,128	22,122	22,857
	⑤	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)					7,479
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料、手数料等) (千円)					
		その他(基金乗繰入金) (千円)					7,479
	⑥	京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)	11,043	12,020	11,128	22,122	15,378
	⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Ⅱ 評価結果

事業名 使用済乾電池処理適正化事業

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	回収量	目標値 …①	t	65	67	74	74	78
		実績値 …②	t	62	62	67		
		目標達成度（②÷①）	%	95.4%	92.5%	90.5%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価	良い	良い	良い	
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度（②÷①）	%					
	指標の種類			評価				
			総合評価					
指標の選択理由				目標値設定の考え方				
指標1	市民の環境意識の向上及び普及のため、回収量を指数とする。			市民の環境意識の向上及び事業の着実な普及のため、目標値を設定している。				
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位		
指標2								
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位		
分析	<実績値の変動理由等> 回収拠点を示した資源物回収マップの全戸配布による拠点認知度及び協力世帯のアップ。エコまちステーションによるイベントでの臨時回収の実施により回収量が増加した。							
B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度		
	①	回収量	t	62	62	67		
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	11,043	12,020	11,128		
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	178,120	193,874	166,088		
	④	単位当たり経費変動率			+8.8%	-14.3%		
				評価	悪くなった	かなり良くなった		
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が減少したため効率性が良くなった。							
C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> 一次電池消費量は減少しているが、依然燃やすごみへの混入があるため、引き続き啓発を行う。					
	実施段階	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☐ 無						
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
D 市民満足度	<調査の有無>		<調査結果、現状分析等> 回収拠点の増設要望はあるが、拡大生産者責任の追求と当面のリサイクルルートの確保との優先順位について、検討中であり、対応できていない。					
	☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない							
	<調査方法>	<調査時期>						
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> 使用済乾電池に含まれる水銀、亜鉛、マンガンなどを適正処理し、資源として有効利用する。					

平成23年度の実施状況 各エコまちステーションが、積極的に各種地域団体と協議し、臨時回収を実施しており回収量は前年を上回る見込み。

市会・監査・外部機関等からの指摘

Ⅲ 今後の方向性

（今後の方向性の理由及び具体的な内容）

現状のまま継続

適正処理及び資源の有効利用のため、イベントでの臨時回収による啓発や資源物回収マップ等により事業及び回収拠点の周知を継続する。
「資源物回収拠点の設置」事業に統合